

# お茶の水女子大学総合情報処理センター

総合情報処理センター長 山本秀行

## 1. 沿革

お茶の水女子大学の総合情報処理センターは、その前身を、昭和42年に設置された理学部附置施設の電子計算機室にさかのぼります。そこでは物理や化学などの計算サポートが主な仕事であり、物理学部の助手と理学部の技官1名が運営にあたっていました。

その後、昭和63年2月に学内の研究教育および事務処理における情報処理を機能的かつ効率よく行うための全学的な機関として、学内措置で情報処理センターが発足しました。このころの主要な業務は、全学向けプログラミング教育支援、学内LANおよび学外接続の維持管理、教官・学生向けメールサーバーの運営でした。当初、スタッフはすべて学内の併任で運営されておりましたが、平成12年には技官1名が、平成14年には助手1名が専任として配置されました。

そして、平成15年の4月から省令に基づく総合情報処理センターとして新しいスタートをきることになりました。

## 2. 総合情報処理センター設置にむけて

現在、本学におきましては、国際化・少子高齢化社会などの時代の変化の中で果たすべき大学としての役割を真摯に受け止め、構造的な大学改革を進行中です。研究面における改革では、国内唯一のジェンダー研究センターなどの従来からある特色に加え、本学の大きな特色である生涯教育と国際貢献を強化すべく、平成14年度からこどもの発達支援研究センターと人間文化研究所を設置しました。学部教育では、平成14年度よりコア・クラスター制を実施しバーチャル学部の概念を導入しています。並行して基礎教育の見直しを行い平成15年度入学生より情報教育の必修化が決まり、平成14年度から先行して高度情報教育科目を新設しています。大学全体としては、来春の国立大学法人化にむけ電子事務局構想が進んでおり、高度情報化された電子キャンパスをめざしています。

この大学改革の中心的部分を担うべく、本学における情報流通の中核をなす総合センターとして総合情報処理センターが設置されることとなりました。

従来の学術情報処理、大規模計算能力、情報収集や情報提供にくわえ、ネットワークを通じた学内事務処理の情報化や合理化、ICカード導入による電子キャンパスの実現、情報リテラシー教育の再構築、電子図書館化などのキャンパスライフの情報化を実現し、また、本学独自のデータベースを整備し大学からの情報発信機能を拡大し、大学の社会・地域・国際貢献の基幹的支援機関となることが総合情報処理センターの使命といえます。

## 3. 総合情報処理センターの役割と業務

お茶の水女子大学における総合情報処理センターの役割は、下図の5つのバーチャルセンターを統合したものとなります。

業務の範囲は、以下の、教育支援・研究支援・ネットワーク支援・電子図書館支援・電子事務局構想支援、となります。

### (1) 教育支援

学部学生への情報基礎教育支援

- (ア) 学内LANを活用したe-ラーニングによる情報倫理教育支援
- (イ) 学内複数箇所に設置される教室システムによるマルチメディア活用講義支援
- (ウ) 情報関連以外の授業に利用できる

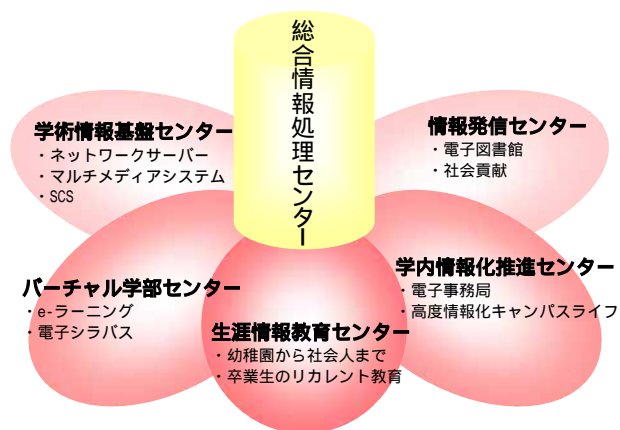


図1 総合情報処理センターの5つの役割

- 複数のOSに対応したICカード対応端末の設置
- (エ) 学内 LAN でのビデオ教材の配信機能による授業時間外の復習・自習活動支援

#### 高度情報教育支援

- (ア) 本学教官の講義のビデオ教材化の支援および遠隔授業システムの運営支援
- (イ) シラバスや講義ノート電子発行、講義内容の蓄積と閲覧システム構築によるバーチャル学部の運用支援
- (ウ) ブロードバンドを活用した卒業生へのリカレント教育支援や留学生教育への活用



図 2 ICカード対応端末室

#### 初等中等教育機関支援

(お茶の水女子大学には幼小中高の附属学校園および保育所があります。これらすべてが大学と同じキャンパスにあり、学内 LAN で結ばれています。附属学校園でのいままでの多くの先進的な経験を活かし、附属の児童生徒のみならず広く初等中等教育への支援も行っています。)

- (ア) 附属学校園で行われる現職教員情報教育セミナーの支援
- (イ) 現職教員、初等中等教育機関の情報交換の場提供による支援
- (ウ) 附属学校園の PTA を通じた地域社会での教育問題の対応への貢献支援
- (エ) 大学教官、大学生ボランティアを中心とする附属学校園の児童生徒への、知的好奇心を活性化する電子コミュニティスペース“お茶ひろば”構築の支援
- (オ) 初等中等教育での衛星システムまたはインターネットを活用した授業プログラムへの支援



図 3 ChaCom チャネル(ブロードバンド授業)

## (2) 研究支援

高速・高性能計算機システムおよびマルチメディアシステムの導入

- (ア) 先端科学研究における大規模計算および大規模データベースの運用支援
- (イ) 大規模計算結果の可視化およびマルチメディア化支援

研究情報交換および成果公開を支援する基盤システムの運用

- (ア) 各研究分野での情報交換および成果発表のサーバーの運用
- (イ) 先端研究分野での成果や本学の特徴的な分野の研究成果を広く一般に分かりやすく公開するシステムの支援と公開サーバーの運用

## (3) ネットワーク支援

- (ア) 安定した高速ネットワークシステムの整備
- (イ) 認証機構を活用した堅牢なセキュアネットワークシステムの整備
- (ウ) 無線 LAN システムを活用した柔軟かつ利便性の高いネットワークシステムの増強
- (エ) 学生、卒業生の自宅からブロードバンド接続に対応した広帯域接続

## (4) 電子図書館支援

メディアセンターとしてのデジタルコンテンツ蓄積・分類・公開の支援

- (ア) 学内学術情報の電子化と情報公開サーバーの運用

- (イ) オンライン電子ジャーナルの充実
- (ウ) ICカードと図書館利用証との統合による図書管理システムの効率化

総合情報処理センターで運用する e-ラーニングとの連携

- (ア) 本学教官講義ビデオの収集・発信
- (イ) 学内外の講演会、記念行事などのビデオ化と公開システム
- (ウ) 教材収集・発信・編集を支援するメディア編集室の設置

(5) 電子事務局構想支援

- (ア) 情報の電子化と情報公開サーバーの運用支援
- (イ) 学生証および教職員証の IC カード化による事務電子化の支援
- (ウ) 電子メディアを使った広報活動の支援

4. 総合情報処理センターの組織

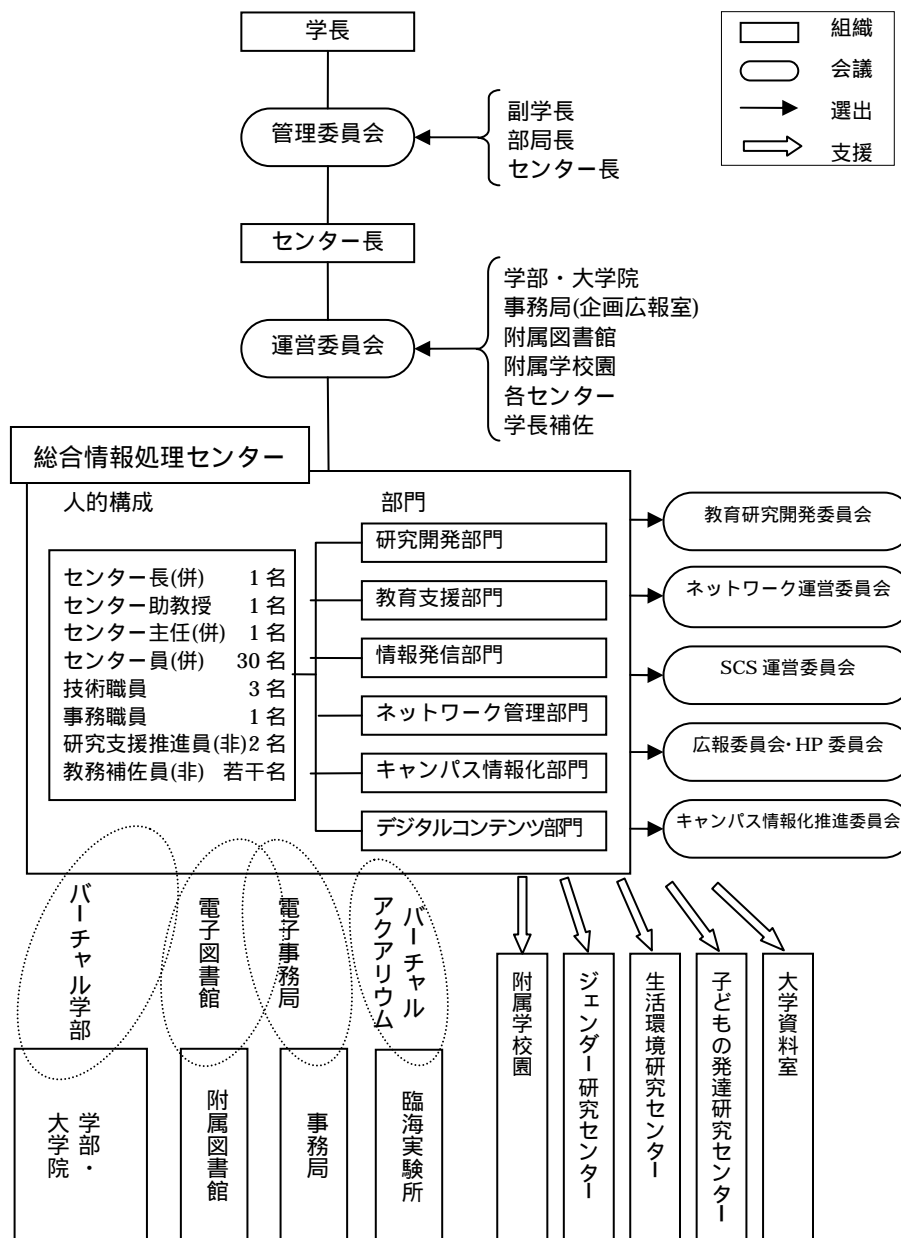


図 4 組織図

5. システムとネットワーク構成

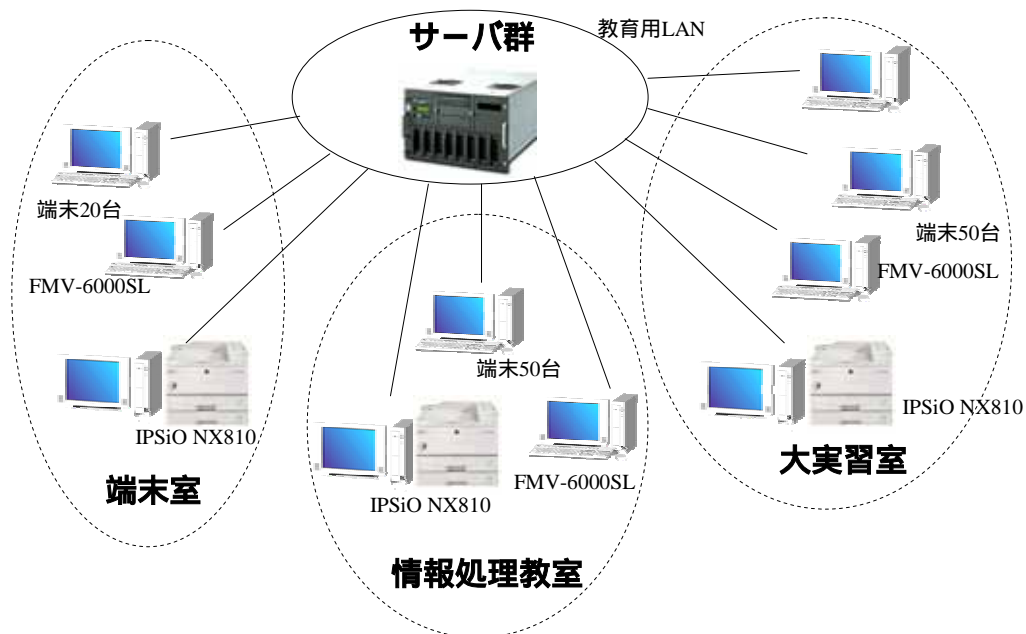


図 5 お茶の水女子大学教育用システム構成図

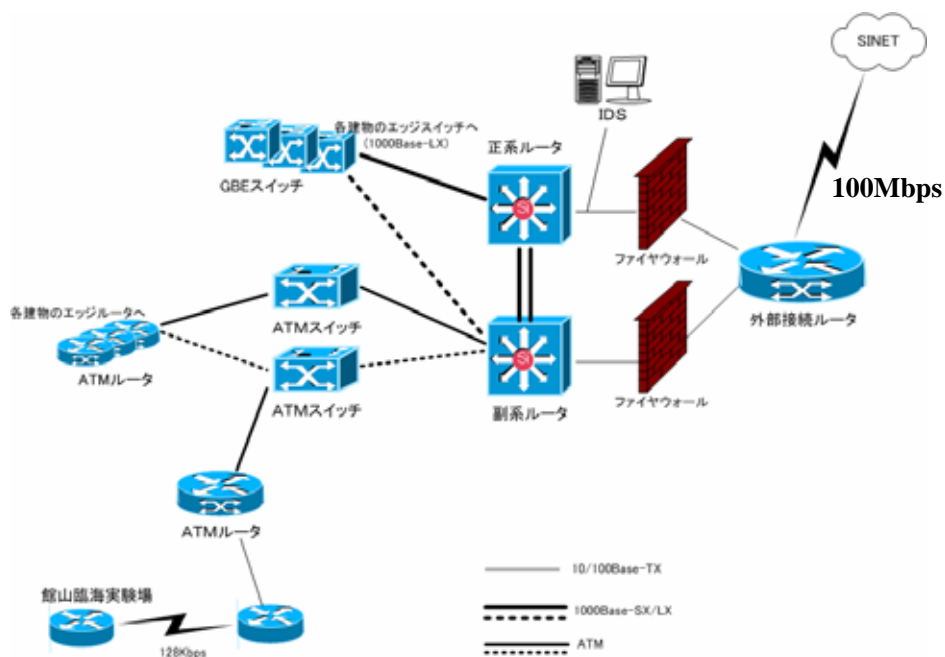


図 6 お茶の水女子大学ネットワーク構成図